

駅頭・街頭宣伝に出て感ずること

共産党への市民の期待を実感

前市議：とりうみ敏行

以前は街頭宣伝に出ると必ず一度は、「うるさい！住宅街でやるな。」などの苦情がありました。この場合、共産党の政策や活動が気に入らないという方の妨害と取れるような苦情がほとんどでした。

ところが今は、週3回の早朝駅頭宣伝の他、街頭での訴えも回数を増やしていますが、1月以来、まだ一度も妨害や苦情がありません。それどころか、日ごとに通りすがりの方々からの「頑張って！応援します。」や、一礼していく人までいます。

『自共対決』いよいよ鮮明になる中、共産党へ

の期待が高まっていることを実感しています。



住宅地で街頭宣伝をするとりうみ候補

浦和区の保育状況

北浦和：倉林 徹

現在浦和区在住の0才～4才児は、6,688名、5才児が1,379名合計保育対象者は、8,067名となっています。しかし、公立保育園の定員は、1



0園で1,140名。認可保育園が8園で460名。その他でナーサリールームが8園で363名、家庭保育室が、12園で194名、合計でも約2,200名程度しか利

用できません。

今年4月浦和区で保育園の入所申込は、879名でした。うち公立や認可保育園に入れたのは420名、不承諾が459名でした。

市が発表している待機児童は、31名(率は市内最高)となっていますが、入所をあきらめている多くの園児がいると考えられます。

浦和区では、来年4月までに認可保育園を1園東側に開設する予定ですが、とても足りません。ちなみに、南区では、待機児童が43名ですが、3園を開設する予定です。また、最近は保育の質も問われています。この間、家庭保育室が増えています。3人の保母さんのうち一人しか

保育資格のある人がいないため、安心できる保育が保障されていません。同時に園児が遊べる十分なスペースが必要です。

いま国の政策で公立保育園の建設には、国や県の補助金が出ません。民間の認可保育園建設に補助金を出し、公立保育園の廃止や民営化を進めようとしています。こうした国の政策をやめさせ、公立保育園の増設をもとめようではありませんか。

高齢者の入り口に立って思うこと

領家：Y

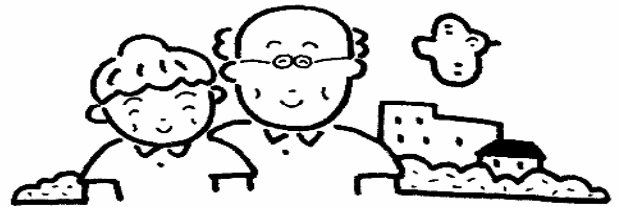
高齢者のお宅に伺って気付くことに、まず、玄関にたくさんの物が置かれていること。物がたくさん置かれているため出入りが不便になっていて災害の時など困ると思います。かつては、きれいに整頓ができていたことでしょう。下駄箱の上にお人形などがたくさん飾られていたり、はきものに入った箱などが重ねてあったりします。それらにホコリがたくさんたまってしまっ、捨てた方がすっきりし、出入りも楽になると思えるのですが、おそらく、その一つ一つに思い出がいっぱい詰まっているのでしょう。だから、捨てられない。それは、よくわかります。そのように年を取ると家の中を片付けられなくなるようです。そこで、高齢にさしかかった今、できるうちに、家の中を片付け、物を少なくし、シンプルにすることが大切だと思います。それが、高齢者のためのバリアフリー環境を作ることになるでしょう。

また、ごみ出しの際の分別が細くなり、高齢者にとって、ごみ出しは、大変面倒なものになっているようです。結果、ゴミ屋敷になってしまうこともあるようです。そうしないためにもその対策や支援が必要だと思います。

しかし、介護サービスが、どんどん減らさ

れている中、これからの高齢者は、まず、健康で元気でなければならぬと感じます。そして、ご近所付き合いも大切です。ゴミ出しなどちょっとしたことを《手伝ってあげる、あげられる関係》を築くことです。このように、いわゆる自助・共助努力も確かに大切です。

しかし、それでも自分では、どうにもならなくなったとき、介護保険を納めているにもかかわらず、今の行政のありかたは、あまりにも不安です。安心して年を取れません。毎年敬老の日のニュース、「少子高齢化がまたすすみました。困ったことです。」と聞こえてしまうのは、高齢者のひがみでしょうか。



高齢期「一人暮らし」でも「ひとりぼっちじゃない」を合言葉に

生協ばあば

さいたま市の人口は約123万人です。そのうち、浦和区には14万5千人が住んでいますが、高齢化率は19%というところ。近頃は高齢者のみの家庭や、一人暮らしの高齢者も多くなっています

憲法の平和と人権の原則が骨抜きにされかねない時代となり、その上、「医療介護総合法」がすすめられ、『時々入院・ほぼ在宅』と言われる時代です。施設入所できる人は限られてくるでしょう。そうした時代を見据え、医療生協・浦診では、診療所に来られない住民のために、個別送迎や、在宅診療(療養支援)も進めています。また、ケアステーションうらしんは、ケアプラン作りのお手伝いや、訪問看護・介護、それに仲間と顔を合わせられる場、デイサービスを運営しています。これらと合わせ私たち組合員の健康寿命をのばす活動「いきいき健康教室」や気軽に集まれる「安心ルーム」、困った時のちょっとした

安倍首相との
病名
“戦争依存症”です
医師

ふれだいいこ
岸町…佐久間
純

「くらし助け合い」の活動がネットワークすることで、「いつまでも安心してこのまちでくらしたい」という要望を実現させられたらと力を合わせ活動を積み重ねています。

人間らしい生き方を求める皆さんや、安心して暮らしやすい地域づくりを目指す『うらわ宿』の皆さんと、これからも大きく連帯していけたらと考えています。

★街角だより★

ギャラリーパレット

領家：池田充宏

地域の人たちのちょっとした集まりに利用できるようにしてあります。「医療生協の針ヶ谷・領家支部」、「浦和北9条の会」、「日本共産党浦和後援会のうたごえ」、「浦和退職した先生たちのうたごえ」がこのパレットを活動の拠点にしています。人が集まるのを準備することは少し面倒くさいことでもありますが、基本的には楽しいことで、おいでいただいた皆様が満足して気持ちよく帰れるように心がけています。

来月は、**浦和北九条の会主催の〈秋の文化と学習のつどい〉**があります。是非皆さんおいでください。

= 日程 & プログラム =

◇ 11/14 (金) ~ 11/16 (日)

★ 15日 (土) 2時~4時 うたごえの日
参加費：500円

4時半~6時半 「はだしのゲン」 上映

★ 16日 (日) 10時~12時 子どもの広場
2時~4時 時代を振り返って
話す人：藤田先生 & 渡辺貢さん

★ 地域の方々の作品を展示します

新鮮な野菜の販売！

開催日の午前中 10時~12時

お問合せ：パレット (池田) 048-886-0226

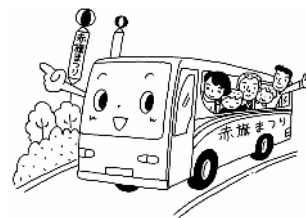
2種類の臨時給付金 申請しましたか？

消費税増税の影響緩和と言う理由で、臨時給付金制度が設けられました。受けられる人は

● 住民税非課税の人
● 児童手当をもらっている人

原則一人1万円、締め切りは12月10日です。すでに該当者には市からお知らせが届いていますが、まだ申請していない人、疑問のある人は市役所福祉課、または区役所まで。
(現在の申請率は51%と極めて低い)

日本共産党赤旗まつり



バスツアーのご案内

浦和区後援会では貸切バスを運行します。

■ 東京・夢の島公園

■ 11月1日(土) 午前7:30 出発

■ 集合場所：北浦和公園横バス停 (埼大通り)

■ バス代 2,200円

■ 前売り入場券 (1日、2日、3日の3日間有効)

一般 2,500円 (当日 2,700円)

割引券 2,000円 (当日 2,000円)

中高生・70歳以上

定員(45名)になり次第締め切ります。

《お問合せ》： 岸 TEL048-886-6119

山田 TEL048-886-1363

浦和区後援会のホームページが開設されました。

<http://urawaku-kouenkai.jimdo.com/> 「日本共産党さいたま市浦和区後援会」で検索

《開設にあたっての野々垣務会長挨拶》

浦和区にお住いの皆さん、こんにちは。ささやかなこのサイトがスタートしたことを機会に、日本共産党浦和区後援会を代表してごあいさつ申し上げます。

さいたま市では政令都市に移行したのちに各区ごとに共産党後援会ができてきました浦和区後援会もその一つです。旧浦和市の中でも県庁や市役所を抱え、JR浦和駅、北浦和駅、与野駅を中心に位置する人口約15万の行政区です。後援会ニュースの愛称も、浦和区の象徴である中山道浦和宿にちなんで、「うらわ宿」と名付けました。毎月1回発行している「うらわ宿」も9月で39号を数えることになりました。後援会や応援してくださる皆様と一緒に作るミニコミ紙をめざして発行していますので今後とも愛読して下さいますようお願い申し上げます。

さて安倍政権発足以降、どうも日本の進路が危うくなっていると感じますが、皆さんはどう思われますか。日本共産党は、真に日本を愛し、隣国とも信頼関係を築ける指針をもった政党であると思っています。ただ長年の共産党への偏見やメディアでの報道量が少ないことなどもあって、共産党の姿がまだまだ知られていないのだと思います。私たち日本共産党浦和区後援会是一言でいうと、共産党の応援団であります。学習会や文化活動、集会などを通じて、共産党の姿をわかりやすく紹介し発展の後押しをしたいと思っ

ています。そして日本の政治のオピニオンリーダーになれるような勢力まで育ててほしいと願っています。

自民党・安倍政権に疑問を持つ多くの皆さまとの交流をひろげ、憲法9条の精神こそが、日本の平和をそして世界の平和を実現する礎であることを共感していきたいと思っています。

どうか一人でも多くの皆さまが、私たち共産党後援会のさまざまな活動に参加していただけますようお願いしご挨拶いたします。

2014年9月1日日本共産党浦和区後援会会長 野々垣 務

川柳
岸町・だん吉
安倍の顔 映つたとたん テレビ消し
戦争の におい プン プン 自衛権
再稼働 許し ちゃならぬ こぶしあげ

★シンポジウム「9条俳句不掲載問題を考える」

10月13日(月・祝)10時~12時

さいたま市産業文化センターホール

主催:日本共産党さいたま市議団

★浦和区革新懇第5回総会・学習会

10月19日(日)13:00開場 カルタスホール

「戦後70年を前に戦争する国にしていいいのか！」

講師:鈴木幸子弁護士(浦和法律事務所)



《編集後記》

八月三十一日に埼玉会館における山下書記局長の演説を聞き、さいたま市の福祉、教育行政が二十政令指定都市のなかで十九番目だと分かって唖然とした。なんと、後ろから二番手いわゆるブービーばかり■十万人あたりの保育所数、医師、看護師の数、病床数。小中学校の教師数が少なく、一学級人数も多いとか。市営住宅戸数に至ってはドンジリ■人口では九番目、財政では三番目であるのに駅前開発、埼玉クリテリウムには多額の税金が支出されても福祉、教育予算を圧縮するようでは市民の幸福には程遠い■『子供たち、身障者、高齢者』に優しい温かい行政を推進して頂くためには、共産党候補者全員当選が不可欠だ。是非ともブービーの汚名返上をして頂きたい■半年後、埼玉会館に市議十一人が勢揃いする姿を見て、抱負を聞きたい。浦和区候補の鳥海さんには返り咲き当選を願い、更に応援するものです。

〈関口〉